

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成29年度～平成33年度（5年間）																									
事業実施地区名 （都道府県名）	（くしろねむろ） 釧路根室森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 こんせんせいぶ 根釧西部森林管理署																									
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の東部に位置する、釧路市を含む1市5町1村に所在する国有林約135千haを対象としている。</p> <p>本森林計画区は釧路湿原の上流域及びラムサール条約登録湿地や別寒辺牛湿原を含むパイロットフォレスト等がある釧路地区や、阿寒富士を源とし太平洋へ注ぐ庶路川・茶路川流域に面する白糠地区、阿寒湖・雌阿寒岳等阿寒国立公園の中心部及び阿寒川流域に面する阿寒地区、阿寒山系から屈斜路外輪山とおり摩周岳にかけての山岳林及び釧路川上流部に面する弟子屈地区で構成されている。これらの主要河川の上流部を占める国有林は、特徴ある多種、多様な森林を構成し、原生的な森林や、昭和30年以降造成されたトドマツやカラマツ等の人工林により形成されている。これらの上流域に位置する国有林野は、河川へ流れる水資源の供給元であり、生活用水をはじめ、畑作酪農の農業用水など多種多様に利用されている事から、水源涵養機能及び山地災害防止機能の発揮を重視した管理経営を行うこととしている。</p> <p>また、阿寒湖、摩周湖、屈斜路湖周辺は原生的な森林生態系を有する阿寒国立公園や別寒辺牛湿原等を主要部とする厚岸道立自然公園は地域の基幹産業である観光にも大きく寄与しているところであり、森林生態系や風致・景観の維持・保存、保健文化機能等発揮に適した管理経営を行い、地域の基幹産業である農業や酪農、漁業等の繁栄に繋がる適切な森林の管理経営を行うこととする。</p> <p>本事業は、これらの地域の期待や要請に応えるとともに地球温暖化防止にも積極的に寄与するために必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>1,799</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>29,013</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>19.8</td> <td>Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.2</td> <td>Km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>5,282,321</td> <td>千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,799	ha			保育面積	29,013	ha		路網整備	開設延長	19.8	Km			改良延長	0.2	Km	総事業費			5,282,321	千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,799	ha																								
		保育面積	29,013	ha																								
	路網整備	開設延長	19.8	Km																								
		改良延長	0.2	Km																								
総事業費			5,282,321	千円																								
費用対効果分析	総便益（B）	46,495,047	千円																									
	総費用（C）	7,399,888	千円																									
	分析結果（B/C）	6.28																										
森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であると考えている。																											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、地域の観光資源でもある特殊な景観の保全、山地災害防止機能等の発揮が求められている地域であり、地域の基幹産業である農業や酪農、漁業、更には、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 本地域は、地域の水源として基幹産業である観光や農業、酪農、漁業への振興に資する役割のほか、山地災害防止に対する機能の発揮が求められており、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																											

## 別紙様式7

整理番号3

## 便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業

事業実施主体:根釧西部森林管理署

事業実施地区名:釧路根室森林計画区(くしろねむろ)

(都道府県名:北海道)

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	5,822,392	
	流域貯水便益	2,592,945	
	水質浄化便益	5,560,843	
山地保全便益	土砂流出防止便益	15,961,282	
環境保全便益	炭素固定便益	5,382,199	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	135,177	
	木材利用増進便益	513,634	
	木材生産確保・増進便益	10,374,560	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	5,861	
	森林整備促進便益	146,154	
総 便 益 (B)		46,495,047	
総 費 用 (C)		7,399,888	
費用便益比	B ÷ C =		6.28

# 森林環境保全整備事業 釧路根室計画区(北海道) 事業概要図



対象計画区拡大図

